

「塩町中学校 ここで一句！」

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力

- 1 日 時 平成29年6月19日(月) 5時間目
- 2 学年・学級 3年B組(男子14人 女子16人 計30人)
- 3 単元名 言葉を見つめる(「俳句の可能性」「俳句を味わう」)(国語3 光村図書)
- 4 本単元を指導するにあたって

本単元では俳句の基礎的・基本的事項を学習するとともに、俳句の鑑賞の仕方についても学んでいく。俳句を鑑賞する際に一つ一つの言葉を見つめていくことで、俳句に込められた作者の思いを読み取り言葉のつかい手としての言語感覚を養っていく。中学校学習指導要領解説国語編第3章第3節第3学年〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「イ 言葉の特徴やきまりに関する事項」にも、「語彙が豊かになるにつれて、語句と語句との意味の違いが微妙なところまでつかめるようになる。」と記載されている。そして実際に俳句を創作することで、より自分の思いを伝えるのに適した表現を選択する力も高めさせたい。

生徒たちはこれまでに詩や物語、短歌など様々な創作活動を繰り返す中で、自己を表現することに楽しさを見出している。その一方で語彙も少なく、比喩などの表現技法を活用したり、推敲を重ねたりといった、より適切な表現を探そうという姿勢が不十分な状態にある。

本単元のパフォーマンス課題である「俳句の創作」の際には、既習事項である比喩や体言止めなどの表現技法の活用を含め、より自分の思いを伝えるのに適した表現を選択することを意識させたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- DVD録画の視聴により、生徒の俳句作りに対する興味・関心を喚起する
- 生徒の思い入れの強い行事である体育祭の写真をお題とし、生徒が主体的に取り組めるようにする
- 共通の写真から俳句を創作することで表現の幅の広さに気づかせ、より適切でふさわしい言葉を選ぼうという姿勢に結び付ける
- コンクールへの出品をゴールとすることで、より良い作品に仕上げたいという意欲を持たせる

【基礎・基本の定着】

(1) 習得すべき基礎・基本について

- 漢字の読み書きをする力
- 「季語」や「定型」など俳句の基礎的・基本的事項の理解
- 表現技法の効果に対する理解
- より良い俳句に対する認識

(2) 定着への手立て

- 家庭での漢字の反復学習を行う
- 授業開始時の俳句の基礎的・基本的事項に関する小テストを行う
- 俳句の鑑賞の際に使用されている表現技法について復習する
- 二つの俳句を比較させより良いものを選択することを繰り返し、共通点を確認させる

5 単元の目標

- 自分の思いが伝わる表現を求めて言葉と向き合う中で、自分の考えを深める。

【国語への関心・意欲・態度】

- 創作した俳句を読み返し、自分の思いが伝わる表現を選択する。

【B 書くことウ】

○ 互いの創作俳句を評価し合い、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深める。

【B 書くことエ】

○ 複数の俳句を読み比べることなどにより、そこに表れたものの見方や感じ方、表現の仕方などを味わい評価する。

【C 読むことウ】

6 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	ウ 書く能力	エ 読む能力
① 微妙な言葉のニュアンスの違いについて考え、より適切で表現にふさわしい言葉を使うことができる。	① 創作した俳句を読み返し、自分の思いが伝わる表現を選択できる。 ② 互いの創作俳句を評価し合い、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めることができる。	① 文章に表れたものの見方や感じ方、表現の仕方などを味わって読むことができる。 ② 複数の俳句を読み比べることにより、表現の仕方について評価できる。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)		④判断力 (自分で決める力)	○	⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	◎	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	
③ 思考力 (考える力)	○	⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

⑤ 表現力 ……言葉と向き合う中で、自分の思いが伝わる表現をすることができる。

③ 思考力 ……自分の思いが伝わる表現を求めて、他の表現方法と比較しながら考えを深めることができる。

④ 判断力 ……創作した俳句を読み返し、自分の思いが伝わる表現を選択することができる。

8 指導と評価の計画 (全8時間)

次	学習内容 (時数)	評 価									
		関	書	読	評価規準 (評価方法)						
1	帯 漢字小テスト・詩の音読 ○ DVD録画を視聴する。 ○ パフォーマンス課題を知る。	◎			ア① (発表の様子)						
	塩町中学校 ここて一句! 中学3年生になった皆さんはこれまでこの塩町中学校で様々なことを体験してきました。その都度感じたことが様々あると思います。今回は行事の思い出、部活動、日常の何気ない出来事やその時の思いを俳句に込めて表現してみましょう。目指すはコンクール入賞!! ○ 評価指標を知る。										
	評価指標 (ループリック)										
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td> ・Bの条件を満たしている。 ・中学校生活の中での感動が伝わる表現をしている。 ・既習の表現技法が感動を際立たせるために使われている。 </td> </tr> <tr> <td>B</td> <td> ・季語や定型など、俳句に関する基礎的、基本的事項を理解して俳句を創作している。 ・俳句にした場面が映像として思い浮かび、心情を想像できる表現がある。 ・既習の表現技法を用いるなどして、効果的に表現しようとしている。 </td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>Bに達しない。</td> </tr> </table>	A	・Bの条件を満たしている。 ・中学校生活の中での感動が伝わる表現をしている。 ・既習の表現技法が感動を際立たせるために使われている。	B	・季語や定型など、俳句に関する基礎的、基本的事項を理解して俳句を創作している。 ・俳句にした場面が映像として思い浮かび、心情を想像できる表現がある。 ・既習の表現技法を用いるなどして、効果的に表現しようとしている。	C	Bに達しない。				
A	・Bの条件を満たしている。 ・中学校生活の中での感動が伝わる表現をしている。 ・既習の表現技法が感動を際立たせるために使われている。										
B	・季語や定型など、俳句に関する基礎的、基本的事項を理解して俳句を創作している。 ・俳句にした場面が映像として思い浮かび、心情を想像できる表現がある。 ・既習の表現技法を用いるなどして、効果的に表現しようとしている。										
C	Bに達しない。										
	(1)										

	帯 漢字小テスト・詩の音読 ○ 「俳句の可能性」を読み，俳句の基礎的，基本的事項や鑑賞の仕方について学習する。 (1)			◎	エ① (発表の様子)
	帯 俳句の基礎的，基本的事項の小テスト 二つの俳句を対比して完成度の高いものを選択させる。 ○ 「俳句を味わう」で紹介されている俳句で俳句の基礎的，基本的事項を復習し，俳句の鑑賞文を書く。 (1)			◎	エ① (発表の様子)
2	帯 俳句の基礎的，基本的事項の小テスト 二つの俳句を対比して完成度の高いものを選択させる。 ○ 「体育祭」の写真をお題に俳句を創作する。 (1)	○	◎		ア①ウ① (自作の俳句)
	○ グループで表現の仕方について話しあう。(1本時)	○	◎		ア①ウ② (発表の様子)
	○ 二つの俳句を対比して完成度の高いものを選択させ，優れた表現の条件を確認する。 ○ 中学校生活を題材に俳句を作る。 (1)	◎		○	エ② (発表の様子) ア① (自作の俳句)
	○ 作った俳句を推敲する。 ○ 完成した俳句を毛筆で清書する。 (1)	○	◎		ウ①(自作の俳句)
3	○ 完成した俳句をグループで交流する。 ○ 俳句を読んで鑑賞文を書き，全体で交流する。 (1)			◎	ウ② (発表の様子)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

創作した俳句を互いに評価し合い，自分の俳句作りに生かすことができる。

(2) 観点別評価規準

- ア①微妙な言葉のニュアンスの違いについて考え，より適切で表現にふさわしい言葉を使うことができる。
ウ②互いの創作俳句を評価し合い，自分の表現に役立てるとともに，ものの見方や考え方を深めることができる。

(3) 準備物

ワークシート，ホワイトボード，マーカー

(4) 学習の展開

時間	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
導入 7分	○あいさつをする。 ○「有季定型」「良い俳句の条件」を確認する。 ○写真を見ながら，前時の学習をふりかえる。 ○本時のねらいを知る。	○「有季定型」とは何でしたか。 ☆「季語があり，五・七・五の定型で表現している俳句」 ○「良い俳句」をつくるためにはどうすれば良いか，ポイントを確認しましょう。 ☆「読んだ時に映像が想像できる」「読んだ時に心情が想像できる」「比喻や体言止めなどを使って工夫している」 ○本時のねらいを確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">互いの俳句を評価し合い，自分の俳句作りに生かそう。</div>	

	<p>○評価指標を知る。</p>		
<p>展開 38 分</p>	<p>○自作の俳句についての説明原稿を書く。</p> <p>○グループで自作の俳句を交流する。</p> <p>○全体で紹介する作品を一つ選ぶ。</p> <p>○全体で交流する。</p>	<p>○授業の後半ではグループで読み合います。今日は自分の俳句について説明する原稿を書きましょう。</p> <p>●「季語」「場面設定」「込めた心情」「工夫した点」について説明させる。</p> <p>◆工夫した点を書けない場合は、教員が声かけを行う。</p> <p>○自分のつくった俳句を同じグループの人に紹介しましょう。紹介されたらルーブリックをもとに、評価を伝えましょう。</p> <p>●評価が抽象的にならないように具体的な部分を挙げて評価を言うように指導する。</p> <p>◆五・七・五の中で一番心に残った部分を選びせる。</p> <p>☆「〇〇さんは『制服に リボンが躍る 春の風』という俳句で『制服に』としていて、リボンが風に吹かれている様子が強調されていて軽やかな春の雰囲気が伝わってきました。」</p> <p>☆「私は〇〇さんの俳句の下五が印象的でした。理由は体言止めによって風のすがすがしさが伝わってくるからです。」</p> <p>○ルーブリックをもとに全体で紹介する俳句を選びましょう。全体交流では選んだ理由も発表してもらうので、言えるようにしておいてください。</p> <p>●選ぶ際にはグループで話し合っって改良して良いことを伝える。</p> <p>○グループごとに俳句を紹介しましょう。</p> <p>●全体の発表が終わったら感想を述べてもらうことを告げ、心に残った俳句や表現の仕方をメモしながらきくように指示する。</p> <p>☆私たちのグループは～という俳句を紹介します。この俳句を紹介した理由は、(汗)を(努力の結晶)と表現しているところが(隠喩が使われ、体育祭をやりきった達成感も伝わるので)良いと思ったからです。</p> <p>○全体交流を終えて、学んだことを教えてください。</p> <p>●数名に発表させる。その時に重要だと思ったことはメモを取らせる。</p> <p>☆私は～グループの俳句が良いと思いました。理由は、私は汗をそのまま「汗」と書いていたけど、何かに例えることで心情も伝えることができると気づけたからです。</p>	<p>ア①微妙な言葉のニュアンスの違いについて考え、言葉を使おうとしている。 (自作の俳句)</p> <p>ウ②創作した俳句を互いに読み合い、表現の仕方について評価して自分の表現に役立てるとともに、もの見方や考え方を深めている。 (発表の様子)</p>
	<p>○授業を振り返る。</p> <p>○次時の確認をする。</p>	<p>○今日の振り返りをしましょう。</p> <p>○今日の生徒の活動を具体的に評価する。</p> <p>○次時の小テストや学習内容等を伝える。</p>	

評価指標 (ルーブリック)

A	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの条件を満たしている。 ・中学校生活の中での感動が伝わる表現をしている。 ・既習の表現技法が感動を際立たせるために使われている。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・季語や定型など、俳句に関する基礎的、基本的事項を理解して俳句を創作している。 ・俳句にした場面が映像として思い浮かび、心情を想像できる表現がある。 ・既習の表現技法を用いるなどして、効果的に表現しようとしている。
C	<p>Bに達しない。</p>